

二万世大路にある殉職警察官之碑二

また移設されました。誰のための慰霊碑？

【森元源吾巡查遭難】

明治21年(1888)1月4日、森元巡査は被疑者を護送して飯坂分署に出張しました。その日は飯坂に泊まり、翌5日巡査は大雪の中、勤務場所の二ツ小屋巡査駐在所に向いました。途中大滝宿で雪がひどいから泊まるように言われましたが、巡査は駐在所に向いました。しかし、10日になっても戻ってこない駐在所から飯坂分署に連絡があり、90人体制の捜索隊が組織され、沿道はもとより付近一帯の山中まで捜索しましたが、あたりは2m余の積雪があり、巡査の遺体が発見されたのは雪が融け始めた5月1日、中野村字石小屋の山中、雪の下からでした。



【殉職警察官之碑の建立】

昭和35年9月、中野地区防犯協会が発起人となり、「殉職警察官之碑」が巡查が遭難した近くの万世大路からちょっと上がった所（地図中①）に建立されました。碑の背面には、森元巡查の出生や巡查経歴、遭難した日の天候、遺体

